あきたのりょういかちと

VOL. 506
2019.7.25

「ジュンサイ採り」

表紙の写真は昨年度、第19回「美しく豊かな農村づくり写真コンクール」において「棚田オーナー賞」を受賞した作品です。

水土里ネット秋田では、今年度も写真コンクールを開催します。**締め切りは12月26日(木)まで**となっておりますので、ご興味のある方は一度水土里ネット秋田のHPをご覧ください。皆様の素敵なお写真お待ちしております！！

撮影者／松元　澄夫　様

イメージキャラクター
みどりちゃん

CONTENT 1 農業農村整備の集い

CONTENT 2 水土里のゴミゼロDAY活動報告

目次 CONTENTS

「農業農村整備の集い」－農を守り、地方を創る予算の確保に向けて－ 2
水土里のゴミゼロＤＡＹ活動報告 3
改正土地改良法関連情報 その2(土地改良施設の資産評価データ整備) 5
「農業農村整備広報担当者会議」の開催について 6
「水土里ネット広報女性部会」総会の開催について 7
令和元年度第１回水土里の広報委員会を開催 8
秋田県農地集団化推進協議会第59回通常総会を開催 9
秋田県土地改良事業団体職員会「第59回通常総会」を開催!! 9
「水土里キッズのわくわく探訪inおが」 10
第20回美しく豊かな農村づくり写真コンクール 10
令和元年度秋田県土地改良事業推進大会・第142回秋田県種苗交換会 10
「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2019 11
「疏水のある風景」写真コンテスト2019 11
第42回全国土地改良大会　岐阜大会 11
男鹿安全寺美田オーナー体験交流 12
大住小３年生による「ネギ植え」体験開催 12
おらほの自慢っこ「来てけれ！東成瀬村」(東成瀬村農林課：近藤　伸亮) 13
ようこそ土地改良区へ(三種町浜口土地改良区　畠山　篤美) 14
随想(稲川土地改良区　髙橋　静) 15
連合会日誌、訃報 15
水土里レポーターによる写真投稿(秋田県雄物川筋土地改良区 渡部　直哉) 16
会員だより 16
リレー感想文(秋田県土地改良事業団体連合会　総務企画部　齊藤　翔) 16
編集後記 16

農を守り、地方を創る
予算の確保に向けて

農業農村整備の集い

6月5日(水)、「農業農村整備の集い」が東京都のシェーンバッハ・サボー(砂防会館別館)で開催され、全国各地から多数の土地改良関係者や116人の衆参国会議員が出席した。

主催者挨拶

二階全土連会長

来賓挨拶

吉川農林水産大臣

情勢報告を行う宮崎顧問

会場の様子

ガンバロウ三唱

吉川農林水産大臣へ
要請活動

高貝全土連副会長(本会会長)
伊藤会長(東北･北海道土地連連絡協議会)

渡辺復興大臣へ
要請活動

高貝全土連副会長(本会会長)
伊藤会長(東北･北海道土地連連絡協議会)

全国の水土里ネットは、これまで培ってきた経験と技術を活用し、「闘う土地改良」のスローガンの下、次の事項の実現を国に強く要請することが採択された。

記

一　農林水産業は国の基であり、土地改良はその根幹を成すものである。平成から令和に元号が変わる節目の年に当たって、今一度「闘う土地改良」の原点に立ち戻り、事業の計画的・安定的な推進のため、令和二年度当初予算の増額を図ること。

二　農業の競争力強化や農村地域の国土強靱化の実現のため、現場の声に真摯に向き合いながら、農地集積・集約化を促す農地の大区画化・汎用化や、老朽化した農業水利施設の長寿命化及び豪雨・耐震化対策等をより一層推進すること。

三　大規模地震や豪雨等の大規模災害からの復旧・復興を早急かつ加速度的に進めること。

四　本年四月に施行された改正土地改良法の適切な運用を図るため、その普及啓発に努めるとともに、土地改良区や組合員の声に真摯に耳を傾け、複式簿記の導入など土地改良区の運営基盤の強化に対する支援を推進すること。

五　今国会で成立した「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」の適切な施行に当たり、広く国民に向けてその周知を図るとともに、現場の実態をよく踏まえた上で、必要となる財政的支援等を講じること。

水土里のゴミゼロDAY活動報告

5月30日(木)全県8支部で一斉に農業水利施設周辺の清掃、点検活動を行い269名が汗を流した。

鹿角支部　かづの土地改良区　奈良　實

対象施設名　狐平橋から久保田橋までの用水路及び水利施設

所　在　地　鹿角市花輪字狐平、大川添地内

参加人数　10名

参加者の感想

農業用水路にゴミや雑草が次々に流れ込んできて、汚染や水門が詰まる原因になっており、毎日のようにゴミや雑草の処理に追われている。「食の安心安全」が叫ばれている中、この実態を見て流域の農業者及び地域住民が「ゴミゼロ」の必要性を認識し、ゴミや雑草等の投棄をやめてもらいたい。

大館・北秋田支部　北秋田市土地改良区　成田　敏之

対象施設名　太田幹線用水路及び鷹巣三堰幹線用水路

所　在　地　北秋田市栄字太田地内

参加人数　32名

参加者の感想

今回初めてゴミゼロ運動に参加し、最初に鷹巣三堰と太田幹線用水路の分水施設の施設点検を行いましたが、水路の大きさと流れの速さに驚きました。その際、水路の上流で草刈りを行っているようで、多くの草が下流に流れており、農家も草刈りの際には気をつけなければいけないと実感した。

山本支部　琴丘土地改良区　牧野　一

対象施設名　地先干拓地排水路周辺

所　在　地　山本郡三種町鹿渡字潟橋地内

参加人数　25名

参加者の感想

今回初めてこの活動に参加しました。土地改良区の役員、総代に参加を呼びかけ人数をどうにか集めることができました。当町では全町クリーンアップが町の主催で毎年4月に実施しているせいか、思ったよりゴミは少なかった感があります。参加者は和気あいあいとした雰囲気の中で作業し、ゴミゼロ運動について理解を深めた様子でした。

秋田支部　昭和土地改良区　奈良　崇史

対象施設名　日本国花苑（井川町）地内の新堤（二階堤）と分水堤

所　在　地　南秋田郡井川町

参加人数　24名

参加者の感想

今年は雨が少ないこともあるのか、ため池には流木等の目立ったゴミはありませんでした。水路もきれいに管理されていたので、これからも美しい環境を保ってもらいたいです。

由利支部

本会総務企画部
真坂　千鶴子

対象施設名 金浦温水路周辺農道

所　在　地 にかほ市大竹ササメキ

参 加 人 数 21名

参加者の感想

今回は、にかほ市土地改良区さんの金浦温水路周辺を歩き、水流を見ながらきれいに整備された水路から田んぼに水を引いているのを見ると「ゴミゼロ」運動は大事な事だと改めて思いました。

仙北支部

本会南事務所
永山　裕希

対象施設名 大仙市大曲土地改良区管理のため池（中沢・明通）等

所　在　地 大仙市内小友字中沢、北太田地内

参 加 人 数 47名

参加者の感想

今回の活動で改めてクリーンアップ活動の大切さ・楽しさが分かった。活動を終えた際には達成感があった。環境に良いことをすることはやはり良い気持ちになった。今後もボランティア活動等に参加して地域、そして秋田に貢献していきたい。

平鹿支部

秋田県南旭川水系土地改良区
泉　寛之

対象施設名 牛沼ため池
（秋田県南旭川水系土地改良区　施設）

所　在　地 横手市睦成地内

参 加 人 数 46名

参加者の感想

横手公園の近くに土地改良施設があるという事を知りました。思った以上にゴミは少なかったが道路沿いの方に車から捨てられたのかゴミが集中していました。年々、この活動を通してゴミが減ってきているような気がしました。

雄勝支部

雄勝郡山田五ヶ村堰土地改良区
倉田　一治

対象施設名 4工区幹線用水路4－1号

所　在　地 羽後町土地改良区管内

参　加　者 64名

参加者の感想

5月30日“ゴミゼロの日”が開催された。少子高齢化社会といわれても、ゴミは増え、水は汚れる。汚水で育った食物は人々に対してどう影響するだろうか？海の魚は人間の排出するゴミによって命を脅かされているという。せめて、農業県秋田としては、新鮮できれいな水で安全安心な食料を！と願いたい。食物に取り込まれる水は清浄でミネラルを含んだ栄養豊富なものが望まれる。そうして育った食物をいただいてこそ、人々も健康で明るい日々を送れるのではないだろうか。5月30日だけでなく“ゴミゼロ”は未来の明るい日々のために！

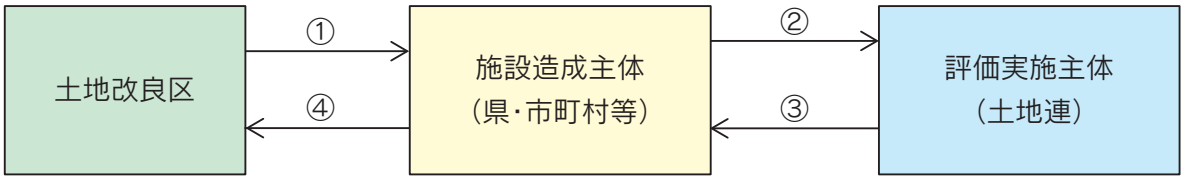
土地改良施設の資産評価データ整備

○　本年4月1日施行の改正土地改良法において、土地改良区における貸借対照表の作成が義務化となりました。
※改正法の施行の際現に存する土地改良区等については、令和4事業年度からの適用（経過措置期間3年）

○　貸借対照表を作成するためには、資産の評価が必要となりますが、そのために必要となる情報は、施設造成主体が土地改良区に提供することになります。

○　本会では、国の事業を活用し、現在土地改良区が管理している施設について、施設造成主体と連携して資産評価を実施し、その結果を土地改良区に提供します。（令和元・２年度において実施）

【データ整備のイメージ】



※①土地改良区が管理する施設データを整理して提供
②資産評価に必要なデータを土地改良施設台帳に整理して関係資料とともに提供
③データの確認とともに下記方法で取得価額等を算出のうえ、土地改良施設台帳を作成して提供
④資産評価結果を確認し、土地改良施設台帳の完成版として提供

本会（評価実施主体）が実施する資産評価の流れ

①施設造成主体（県・市町村・土地改良区）から提供されたデータの評価内容の確認をします。

②取得価額の算出
原則、造成時の資料に基づく「実績による方法」で算出しますが、取得価額が不明な施設については、実績を推定で補完する方法や推定法により算出します。

◆取得価額 ＝ 標準単価 × 数量 ÷ 支出済費用換算係数

※国で示した以外の標準単価については、比例配分法により本会で作成します。また、区画整理事業で造成された道水路については地区単位で算出します。
なお、耐用年数を超過した施設については、期末残高は備忘価額１円としますが、将来の更新費用を把握するため取得価額を算出します。

③土地改良区負担額の算出
基本は実績値ですが、不明な場合は国が示している「負担割合の指針」により算出します。

④減価償却累計額の算出

■減価償却累計額 ＝ 取得価額 × 経過年数 ÷ 耐用年数

⑤評価結果を確認し、評価額を確定させ、土地改良区に**土地改良施設台帳**として提供します。

ワンポイント

土地改良施設の貸借対照表評価額の記載方法が変わりました

旧土地改良区会計基準では、国庫補助金等で取得した土地改良施設については、取得価額から国庫補助金等に相当する金額を控除した残額のみを記載することになっていましたが、新土地改良区会計基準では、貸借対照表には国庫補助金等を含めた取得価額を記載し、財務諸表に対する注記に、負担額の内訳を記載することになりました。

「農業農村整備広報担当者会議」の開催について

4月19日（金）、全土連にて「農業農村整備広報担当者会議」が開催された。開会にあたり、全国水土里ネット加藤秀樹常務理事より「**本会議も今年度で23年目を迎える**。私も、過去に広報業務に携わっていた時期もあり、当時は各県土連や国営事業所等の方々にとって役立つ情報を提供することが求められていた。このことに伴い機関誌等の作成を始め、新聞各紙の関連情報の発信も行っている。発信は**現在5500回を突破し、25年以上継続している**。昨今の新聞記事には土地改良の話題が増えてきており、これは今まで**皆さんが地道に広報活動を続けてきた成果である**と実感しており、心から感謝申し上げる」と挨拶があった。

加藤常務理事　挨拶

冨田調査官　挨拶

次いで、来賓挨拶では農林水産省農村振興局整備部設計課の冨田晋司調査官が「日頃より全国各地の水土里ネットにおいて広報活動を行って頂き、大変感謝申し上げる。ここ数年間、皆様の活動の成果により毎年予算の回復及び増加が続いている状況となっており、**農業農村整備事業と広報活動は密接な関係**にあることが分かる。したがって、**予算確保においては『事業の必要性の宣伝』という側面からの広報活動が非常に重要**になる」と述べられた。

続いて議事に入り、平成30年度活動実績・31年度（令和元年）の活動方針についてなどに対し意見が交わされた。また、「フォローアップ調査結果の報告」では、昨年7月に現地視察及び意見交換会が行われた、**【平成29年度21創造運動大賞受賞団体】の大仙市「水土里ネット仙北平野」、【平成22年度ＮＮコンクール農林水産大臣賞受賞地区】の大仙市「豊川・豊川2期地区」**と、それぞれ本県の事例が報告・紹介された。

また、会議の最後には、出席者を6～7人のグループに分け、各グループ毎に持ち寄った各県土連の広報誌を基に、誌面作りや広報の手法について意見交換を行うワークショップを行った。各都道府県土連の広報活動への工夫や悩みを共有することで、**互いに新たな手法を見出し、担当者個々の意識改革にも繋がるような、**大変有意義なワークショップにすることが出来た。

今回の農業農村整備広報担当者会議は本会広報担当者にとって、新たに得た情報・方針に則り、**本県農業農村整備事業の広報活動をさらに創造性を持った内容に展開していく**ための方向性を改めて考える機会となった。

グループワーク発表の様子

意見交換会の様子

「水土里ネット広報女性部会」総会の開催について

4月26日（金）、東京都のルポール麹町にて、「水土里ネット広報女性部会」の総会が開催された。開会に当たり、全国水土里ネット加藤秀樹常務理事より、「本女性部会は**水土里ネットの業務に携わる女性の活躍を広報するとともに、女性のスキルの向上、活躍の場を広げることにより、農業農村整備広報会議の活性化、女性が土地改良事業推進の中核を担える環境づくりを進めること**を目的として平成29年度に設立された。本日は、折角の機会なのでこの場で様々な意見を出し合い、会員同士の連携を深め、女性部会を盛り上げて頂きたい」と、挨拶があった。

来賓挨拶をする進藤参議院議員

来賓挨拶をする宮崎顧問

次いで来賓挨拶では、全国水土里ネット会長会議顧問の進藤金日子参議院議員より、「これまで、私自身も公約として『女性視点の政策の重要性』を訴えてきた。本日お集まりの皆様にも土地改良の視点に限らず、**地域社会についても女性の視点から様々なご意見を頂ければ幸いである**」と挨拶があり、同じく宮崎雅夫全国水土里ネット会長会議顧問の挨拶では「私は4月24日（水）に山形県の女性の会設立総会に参加させて頂き、また、全国の設立状況を見ても女性の結束力が非常に伝わってきている。現場の最前線を支えている水土里ネットの女性職員は全国に2,000名以上いる状況で、中には1～2人という少ない人数で頑張っている土地改良区も存在する。このような状況を加味し、**如何にネットワークを広げ、女性の力を結集させるかということが重要**になってくる」と述べられた。

続いて、議事に入り「2019年度役員選出」について会則に基づき、**会長に水土里ネットやまなし　総務部総務課　萩原丈巳課長、副会長に水土里ネット岡山　総務部　荒木美子部長、水土里ネットみやぎ　総務部　戸松若菜次長**が選出された。

萩原会長

次に、全国水土里ネット企画研究部　野口主任より「水土里ネット広報女性部会」の平成30年度の活動報告があり、昨年度行われた広報女性部会においての勉強会及び現地研修、広報ツールを活用した宣伝活動の実績報告がなされた。

また、平成30年度に女性の会を設立した各県水土里ネットによる現状報告がなされ、各地における特色ある活動を学ぶ機会となった。

引き続き野口主任より、「本年度の女性部会の活動予定」についての説明があり、今年度は「**女性部会の浸透とネットワークづくり**」をテーマとした活動を行うこととし、他の農業関係女性部会や他業種の女性団体との交流、現地意見交換会の開催、広報女性部会として要請活動へ参加することなどの活動方針が示された。

なお、今年度女性の会設立予定の都道府県担当者からは、各都道府県の状況に合わせて設立に向けた活動を展開して行く予定であるとの説明があった。

野口主任は、「**女性部会は活動を義務と捉えずに、活動するチャンスを掴んだ会と位置付け、機運が高まっている今年度も積極的な活動を展開していく必要がある**」と本活動の意義を述べられ、参加した各都道府県土連においても女性の会の活動への積極的な参加を呼びかけていた。

令和元年度

第1回水土里の広報委員会を開催

挨拶をする金森常務理事

6月18日（火）本会第一会議室にて今年度初めての「水土里の広報委員会」が開催された。

初めに本会金森常務理事より「私は5年前広報に関わっていた。その際、元農林水産省農村振興局長の太田信介さんを招き、講演会とワークショップを丸一日かけて実施し、それを機に各水土里ネットの広報誌の誌面が刷新された事を記憶している。当時のメンバーは、管理職が中心のメンバーだったが、今日は若い世代の方々に集まって貰っており、柔軟な発想と感性を用いて色々な意見が出ることを期待している。本日は、令和元年度最初の広報委員会なので、実りある委員会にして貰いたい」と挨拶があった。

次に事務局より、4月に行われた全土連主催「**農業農村整備広報担当者会議**」の内容についてと、9月に行われる「**水土里キッズのわくわく探訪inおが**」の概要並びにスタッフ募集について情報提供がなされた。

ワークショップの様子

続いて、広報委員では初めての試みとなる「ワークショップ」形式での話し合いを行った。今回は4つのグループに分かれ、持参した広報誌を基に良かった点や改善点など意見を出し合いながら模造紙にまとめ、グループ毎に発表を行った。

発表では「**イメージキャラクターを取り入れてはどうか、工事写真・手順など広報誌を見る組合員目線で紹介した方が分かりやすいのではないか**」や「**大切なのは記事の内容であり、その中に写真があればより良い。イベントだけではなく、トラブルが起きた際の事例を載せると組合員に対する注意喚起にもなる**」、「**写真を多く載せることで視覚から広報を捉える事が出来る、一つの特集を見開きで見ることで視覚に入りやすく興味を惹きやすい**」などといった**改善点**が多く出された。

また、どのグループも「**広報誌のマンネリ化**」を問題視しており、毎年同じ形になってしまう点や、デザインの変更をしたいがタイミングが分からないという声が多く挙げられた。

委員会をワークショップ形式で行うことでいつも以上に活発な意見が交わされ、事務局側が気づかない様な読み手目線から見た多くの意見が出された。

次回もより充実した委員会となる様、今回出された意見・アイディアを活用し、水土里ネットの広報活動を盛り上げていきたい。

発表の様子①

発表の様子②

秋田県農地集団化推進協議会 第59回通常総会を開催

6月24日（月）、秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」に於いて、秋田県農地集団化推進協議会（佐々木紘一会長）の第59回通常総会が本会髙貝会長ほか来賓を迎え開催された。

議事に先立ち、令和元年度秋田県農地集団化事業優良地区並びに功労者の表彰が行われ、今年度は7優良地区が受賞された。

議事では、佐々木会長が議長を務め、提出議案の平成30年度事業報告と収支決算並びに令和元年度事業計画、収支予算と任期満了に伴う役員改選などの提出議案は全て原案どおり満場一致で承認・議決された。

総会終了後には、新たに選任された理事・監事による役員互選会が行われ、新会長に佐々木 紘一氏（内越土地改良区）、副会長には判田 勝補氏（大仙市大曲土地改良区）、牧野 秀孝氏（三種町浜口土地改良区）が、代表監事に鈴木 美喜雄氏（潟上市天王土地改良区）がそれぞれ互選された。

総会終了後、同会場で研修会が開催され、雄和中央土地改良区の黒崎 武男氏による、「平沢地区の現在」の講演が行われた。

今年度の受賞地区は次のとおり。

【令和元年度秋田県農地集団化事業優良地区表彰】

吉田地区（北秋田市土地改良区）、轟地区（二ツ井白神土地改良区）、五城目杉沢地区（馬場目川水系土地改良区）、福米沢本内地区（男鹿市土地改良区）、平沢地区（雄和中央土地改良区）、中仙中央地区（秋田県仙北平野土地改良区）、栄南部（秋田県南旭川水系土地改良区）

秋田県土地改良事業団体職員会「第59回通常総会」を開催!!

6月21日（金）、秋田市「遊学舎（秋田県ゆとり生活創造センター）」において、秋田県土地改良事業団体職員会（菅原喜博会長）の第59回通常総会が開催された。

総会は、菅原会長の挨拶に続き、優良会員表彰、来賓の県農林水産部・舛谷雅広農地整備課長並びに、水土里ネット秋田・金森正広常務理事の祝辞が行われた。また、議事では、議長に照井元氏（秋田県南旭川水系土地改良区事務局長）を選任し、令和元年度会計収支予算等の審議が行われ、令和元年度事業計画及び収支予算、「女性の会」設立、役員の補充選任などの提出議案は全て承認された。また、総会に引き続き、県農林水産部の舛谷農地整備課長を講師に「秋田県の農業農村整備について」の講演が行われ、出席者は秋田県の事業取組状況や土地改良区の組織体制強化、地域づくりと一体となった農業農村整備の展開方向などの説明に理解と興味を示していた。

なお、役員の補充選任に関しては、仙北支部からの理事として佐藤靖彦氏（秋田県西仙北土地改良区）が選任された。

＜優良会員表彰＞　敬称略

和田弘子（男鹿市土地改良区）、夏井まゆ子（男鹿市土地改良区）、小松卓真（由利本荘市土地改良区）、斎藤善嗣（秋田県協和土地改良区）、小田嶋弥生（秋田県雄物川筋土地改良区）、長谷山和則（雄勝郡山田五ヶ村堰土地改良区）、小泉智一（雄勝郡山田五ヶ村堰土地改良区）

水土里キッズのわくわく探訪 in おが

・開 催 日：令和元年9月7日（土）
・時　　間：8:00水土里ネット秋田集合、9:00男鹿総合観光案内所集合
・対　　象：秋田市・男鹿市、または上記2場所まで送迎可能な小学校4 ～ 6年生
・応募〆切：令和元年8月9日（金）
・問合せ先：総務企画部 広報・渉外班　　TEL.018－888－2742

昼食代 1,000円

第20回 美しく豊かな農村づくり写真コンクール

今年度も秋田県農林水産部農山村振興課と共催のもと、「守りたい秋田の里地里山50」部門（写真部門のみ）が継続されます！

●趣旨
農村は、食料生産や地域住民の生活の場のみならず、生き物の命を育み、守り、そして水と緑の自然とのふれあいの場として国民共通の財産です。
この農村を更に豊かで住みやすく、活力あるものにするために、農村地域の保全や整備に努めなければなりません。
秋田県土地改良事業団体連合会（以下、「本会」とする。）では、日本の農村地域が持つ豊かな自然や生活環境と、農業農村整備事業に対する理解を更に深める機会とするため、一般（高校生以上）を対象に写真コンクールを開催します。

●実施主体
主催：秋田県土地改良事業団体連合会　　共催：秋田県

●応募テーマ
農村景観、農作業風景（田植え、稲刈り、野菜づくり等）、農村生活（ふれあい農園、朝市、祭り、体験学習、維持管理作業等）、土地改良施設（ため池、堰、頭首工、橋、道路、水路、農村公園等）

●応募部門
応募部門は、次の3部門です。
（1）秋田の農業＆農村部門　　（2）日本の農業＆農村部門
（3）「守りたい秋田の里地里山50」部門（認定された地域に関係する作品で、かつ応募テーマに当てはまる作品であること）

●応募〆切
令和元年12月26日（当日消印有効）

昨年度の受賞作品は本会ＨＰよりご覧頂けます→http://www.akita-midori.net/

令和元年度 秋田県土地改良事業推進大会

●令和元年10月31日(木)　午後1時00分　　●大館市民文化会館

第142回 秋田県種苗交換会

「農業農村整備フェア」を開催します！

昨年の農業農村整備フェアの様子

農業の祭典『第142回秋田県種苗交換会』が10月30日(水)～11月5日(火)まで大館市を会場に開催されます。期間中水土里ネット秋田では農業農村整備事業のＰＲのため県内国営事務所、秋田県、秋田花まるっＧ・Ｔ推進協議会と共催で参考展示「農業農村整備フェア」を大館市「タクミアリーナ（大館市樹海体育館）」で開催します。皆様のご来場をお待ちしております。

期間　令和元年10月30日（水）～11月5日（火）
内容　各種パネル・事業模型の展示・土地改良相談コーナー・カレンダー作成など

作品募集中

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2019

テーマ 「新発見！ぼくのわたしのふるさと」

応募資格 小学生以下

応募〆切 令和元年9月11日（水）必着

賞

農林水産大臣賞／文部科学大臣賞／環境大臣賞／全国水土里ネット会長賞／水の路賞／ふるさと水と土優秀賞など

応募のきまり

・応募資格は小学生以下。クラスや学校単位での共同作品も可。
・四つ切り画用紙サイズ（38cm×54cm）以上、90cm×190cmまでとし、作品の厚みは3cm以内とします。
・作品テーマにまつわる題材で自由に描いてください。画材は自由です。
・応募用紙に必要事項を記入のうえ、はがれないように作品の裏に貼り付けてください。

応募先
問い合わせ先
〒010-0967　秋田市高陽幸町3－37　水土里ネット秋田（秋田県土地改良事業団体連合会）
総務企画部　広報・渉外班　あて　　TEL：018-888-2742　FAX：018-888-2834

作品募集 「疏水のある風景」写真コンテスト2019

題　材 農業用水路などを含めた農村の景観や施設とともに生きる人々、生活の様子、疏水を活用した地域づくりなど自由。ただし、作品に疏水が写っていることが条件となります。
※疏水とは、水田や畑地のかんがいに利用する農業用水はもちろん、生活用水等にも活用するため新たに開削された水路。農業用水利施設とは頭首工、水路、パイプラインによるスプリンクラーかんがい、貯水池（ため池は除く）、などの施設をいう。

応募方法 平成30年1月以降に撮影した未発表のもの、四つ切り又は四つ切りワイドのプリント。応募票等詳細は下記URLまで。

応募〆切 令和2年1月10日（金）（当日消印有効）

応募先
問い合わせ先
〒102－0093　東京都千代田区平河町2-7-4　砂防会館別館4Ｆ
全国水土里ネット「疏水のある風景」写真コンテスト係
TEL：03－3234－5480　**http://www.inakajin.or.jp**

第42回全国土地改良大会
岐　阜　大　会

令和元年10月16日（水）開催

会場　岐阜メモリアルセンター（で愛ドーム）

主催　全国土地改良事業団体連合会
岐阜県土地改良事業団体連合会

男鹿安全寺
美田オーナー体験交流

6月2日（日）男鹿市安全寺地区にて安全寺里山保全会主催の「**田植え・案山子（かかし）作り体験**」が行われた。この活動は、男鹿市安全寺地区での農作業体験や交流会を通じ、地域の方々と一緒に**安全寺里山の田んぼを保全**していくサポーター（オーナー）を募集するものである。

当日は快晴で心地の良い風が吹く中、交流会が行われた。開会式では、主催者の**安全寺里山保全会安田代表**の挨拶に続き、来賓挨拶を**川原県副知事、菅原男鹿市長、杉本秋田県議会議員**が行った。

次に、地元安全寺地区の方から植え方を教わり、参加者全員で田植え体験に挑戦した。昨年同様、男鹿の「**なまはげ**」も参加し、全員汗だくになりながら無事に田植えを終えた。

お昼には、地元のお母さん方による手作りの昼食を食べ、全員あまりの美味しさにあっという間に完食してしまった。

その後、午後からの「**案山子（かかし）作り**」体験をもって、男鹿安全寺美田オーナー体験交流は幕を閉じた。

今回の田植え体験では大人だけではなく、子どもの参加者も沢山見受けられ、**全員が笑顔で楽しそうに**作業している姿が印象的だった。体験を通して参加者一同、毎日食べているお米がいかに大変な作業や苦労の上に作られているかを改めて学ぶ場になったと思う。そして先人たちから受け継がれた「この地」を大切に守りながら後世まで伝えなくてはならないと感じた。秋には収穫体験があるので次回も多くの方々との交流の場になることが期待される。

水土里の野菜倶楽部

大住小３年生による「ネギ植え」体験開催

6月7日（金）「水土里の野菜倶楽部」による学童体験農園が今年も開催された。今回は、大住小学校3年生90名による「白神ネギ・あきた美人ネギ」の植え付けを仁井田の体験農園で実施した。例年は、「ジャガイモ」を4月下旬に植え付け、7月20日頃収穫としていたが、熱中症対策、夏休みが早まったこと及び連作障害対策等のことから、本年度は、参加児童には少しばかり難易度が高いが「白神ネギ・あきた美人ネギ」を植え付け作物とした。薄手のゴム手袋をはめて、三種町浜口土地改良区の畠山局長よりご提供頂いたネギ苗等を一本一本丁寧に植え付けた。野菜倶楽部会員のご協力を得ても例年の2倍程度の時間は要したが、見事に9畝の植え付けが完成した。10月には、収穫し新米の「きりたんぽ鍋」等に利用してもらうこととしている。

野菜倶楽部では、今後も地域内児童の農作業体験を通して、少しでも農業農村の理解そして都市農村交流に寄与していきたい。

また、「仁井田大根」等の伝統野菜も引き続き栽培していくこととしており、漬物講習会・収穫祭等も予定している。今後とも皆様の温かいご支援とご協力をお願いしたい。

おらほの自慢っこ
シリーズ 16

来てけれ！　東成瀬村

東成瀬村農林課
近藤　伸亮

仙人修行

毎年８月上旬に行われる「仙人修行」は、３日間にわたり座禅や断食、滝行など非日常的な体験ができます。今年で35回目を迎える仙人修行にはリピーターも多く毎年国内外からの参加者が集い、共に「仙人」の認定を目指して修行します。都会の喧騒から離れ、修行を通して自分を見つめ直したい方には是非お勧めです！

栗駒国定公園

村の南に位置する栗駒地区。そこには、自然を満喫できるスポットが多く、須川湖キャンプ場や栗駒山等のアウトドアを存分に楽しめる場所が詰まっています。アウトドアはちょっと…という方にお勧めなのが栗駒山荘です！露天風呂からは雲海に浮かぶ出羽富士・鳥海山を望む絶景を見渡すことができ、特に紅葉シーズンは格別です。早めの予約を！

幻の短角牛なるせ赤べご

「なるせ赤べご」は、幻の短角牛とされ、村のブランドになっています。初めて食べた方も、脂肪分が少なく歯ごたえもあっておいしいと太鼓判を押すほど。最近のプロテインブームに乗るには、高タンパク低カロリーのなるせ赤べごがお勧め！

桃太郎トマト

村は朝晩の寒暖差が大きいことから、特産の一つであるトマトの糖度が最大限に高められており、とにかくツヤツヤとした甘いトマトとなっています。その甘いトマトを使用して、なるせ加工研究会が作った加工品も絶品です。中でも、トマトピューレは飲んでも美味しく、料理やお酒にも合い、日々の食事が楽しくなること間違いなし！

ジュネス栗駒スキー場

ジュネス栗駒には、多彩なコースとゲレンデに直結する温泉ホテルも完備した大人気のスキー場があります。ゲレンデからは出羽富士・鳥海山を望むことができます。冬を満喫できる絶景のゲレンデを滑走した後は、おいしい食事と温泉で疲れた身体を癒やすことができます。

砂丘地帯

三種町浜口土地改良区
畠山　篤美

▲施設見学会

▲芦崎地区圃場整備事業工事状況

▲メロンの収穫体験

本土地改良区は昭和30年に設立され八郎潟干拓事業により誕生した大潟村の北、三種町（旧八竜町）浜口地域に位置し旧国道101号線より東側は八郎潟西部承水路、西側は日本海に挟まれた地域で北に能代市、南に男鹿市を含む約7㎞を範囲とし、面積は水田474ha、畑地287haです。

本地区の水田は、八郎潟湖岸一帯に分布する潟西層を基盤とした沖積層で表土は軟質なる砂壌土でその厚さは0.30m位で標高は2.40～0.40m位で背後地の畑地は日本海の潮流によって堆積したのが砂丘地帯で、それを開発したものですが標高40m内外の丘陵地帯と砂丘地よりなっており、中でも砂丘地帯の畑地かんがい地域は、全国でも屈指のメロン産地として知られています。水利については八郎潟西部承水路と浅内沼を主水源としています。主な栽培作物は水稲を中心に、県営畑地かんがい整備事業により造成された畑地帯にメロン、アスパラ、ゴボウ、ネギ、タバコ、大根他多種野菜を栽培し複数の直売所へ多くの農家が登録し高収入を得ています。

土地改良区の業務については維持管理が主で土地改良施設維持管理適正化事業や基幹水利施設ストックマネジメント事業等で施設の維持補修をしております。また多面的機能支払交付金事業を今年度からも継続して活用し地区の維持管理費軽減が図られており、総合学習の一環としては小学3年生を対象に水路内の水生生物調査や施設（ポンプ場他）見学会も毎年行っています。

圃場整備事業では平成26年度採択となった芦崎地区農地集積加速化基盤整備事業に着手し今年度で54haの面工事が終了する計画で高生産性のほ場が造成されることにより変わりゆく農業情勢に対応する大規模経営が展開できることを期待しております。

これからも土地改良区の業務運営等につきましては役職員が一丸となって取り組んでいきたいと思っています。

三種町では様々なイベントを企画し観光等に力を入れております。管内周辺では釜谷浜海水浴場でサンドクラフト（砂像）や映画の撮影も行われました。みなさんぜひ遊びに来てください。

▲サンドクラフト2018

▲釜谷浜海水浴場

▲映画ディアンドナイト挨拶

「随想」――シリーズ㉖

「大義名分」

稲川土地改良区
髙橋　静

我が家では年に一回、家族旅行をしている。

数年前、父の還暦祝いで、三姉妹から沖縄旅行をプレゼントしたことがきっかけだ。美ら海水族館や首里城など「沖縄といえばここ！」という定番の観光地を巡り、海ブドウや島らっきょう、グルクンの唐揚げ、ヒラヤーチーなど、おいしい料理に舌鼓を打った。

姉と計画をたてる段階で、「せっかくだから、やったことのない何かを体験しよう」と、マリンウォークを予約した。ウェットスーツを着用し、宇宙飛行士のようなヘルメットをかぶり、船から下ろしたハシゴを伝って水中へ入っていく。地に足がついたところで、手に餌を持つと、たくさんの魚が寄ってきて、目の前で色とりどりの魚を楽しむことができた。ヘルメットでお互いの声は聞こえないが、表情で会話できるところが面白く、シュノーケリングとはまた違った楽しみ方だな、と感じた。

三泊四日はあっという間で、私たちはまだまだ行きたいところ、やりたいことがたくさん残っていたが、両親は大満足してくれた。帰路につきながら、姉と「喜んでくれてよかったね。私たちも楽しかったし。近場でもいいから、毎年こうやってどこかに行こうよ」と話した。親孝行という名の、大義名分が生まれた瞬間だった。

こうして、我が家の家族旅行がスタートした。まだ始まったばかりだが、両親が元気でいる限り、いろいろな場所に連れまわしたいと思う。

連合会日誌

6月21日	県営中仙中央地区農地集積加速化基盤整備事業竣工式典・祝賀会	大仙市
6月22日	宮城県土地改良事業団体連合会創立60周年記念令和元年度宮城県土地改良大会	宮城県
6月26日	第２回監事会	本会第１会議室
6月26日	秋田県農業公社　令和元年度通常総会・第２回理事会	秋田市
7月５日	令和元年度秋田県多面的機能支援協議会通常総会	秋田市

今後の行事予定

7月30日	換地委員等実務研修	秋田市
7月31日	雄和中央地区土地改良区合併予備契約調印式	秋田市
8月６日	会計指導員育成研修・認定試験（～９日）	東京都
8月16日	食料・農業・地域政策確立秋田県生産者大会	秋田市
8月29日	第３回監事会・第２回理事会	本会第1･3会議室
9月７日	水土里キッズのわくわく探訪inおが	男鹿市
9月10日	全国ため池等整備事業推進協議会総会	東京都
9月10日	都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者会議	東京都
10月16日	全国土地改良大会岐阜大会	岐阜県

訃　報

秋田県雄物川筋土地改良区前理事長の柴田康二郎様が、病気療養中のところ6月14日永眠いたしました。

柴田様におかれましては、本会の理事（平成20年4月1日～平成31年2月28日）として、本県の農業農村整備事業の推進や土地改良区の育成強化等にご尽力いただきました。

会員の皆様に訃報をお知らせしますとともに、謹んでご冥福をお祈り致します。

造山の傘杉

水土里レポーター：秋田県雄物川筋土地改良区
渡部　直哉

横手市雄物川町造山地区の北端には、幹が複雑に分岐した杉の木があります。まるで四方八方を見渡さんとするかの如きその威容は、傍らから湧き出る清水とともに信仰の対象となってきました。地域の変遷を見守り続けてきた神木に思いを馳せ、清水の囁きに耳を傾けていると、夏の暑さも忘れる気分です。

会員だより

新理事長・組合長就任のお知らせ

次の方々が新たに理事長又は組合長に就任されました。

○八峰町沼田土地改良区（H31.4.6）
　理事長　小林　富雄

○ＪＡ秋田しんせい（R1.6.27）
　代表理事組合長　小松　忠彦

リレー感想文 vol.18

「ようこそ土地改良区」や「随想」など、改良区の方が書かれた記事は大変興味深く、勉強になります。

今後も楽しみにしております。

総務企画部　齊藤　翔

編集後記

「令和」の時代が始まり、早2ヶ月余りが経とうとしています。段々と新元号の響きにも慣れ、「平成」を耳にすると懐かしいような、そんな気持ちにすらなります。

この会報誌が皆様のお手元に届く頃には、暑い夏が始まっている頃かと思います。秋田の夏と言えば、私は「大曲の花火」が今から楽しみでなりません。幼い頃から毎年のように祖父母に連れて行って貰い、当時はあの人だかりを歩くことが出来ず、帰りは必ずと言っていいほど小さなリアカーに乗せられ帰ったことを今では懐かしく思います。そして今年は令和初めての花火、秋田の短い夏を彩ってくれる「大曲の花火」に今年も期待で胸が高鳴ります。会員の皆様、関係機関の皆様におかれましてもこの夏が鮮やかな思い出に残る素敵な夏でありますように。

（広報・渉外班　寺澤）

【発行所】　秋田県土地改良事業団体連合会　〒010－0967　秋田市高陽幸町3番37号
TEL 018－888－2750(代)　FAX 018－888－2834
http://www.akita-midori.net/